

重機の試乗は今回も人気



大きなプラレールに子供たちも笑顔



模型に興味津々



第25回『土木の日』ざ～まに住みよかしまへ 今年も恒例の『綱引き』に大歓声

冒頭、田中部長の「土木の日」のイベントも今年で25年の節目を迎えました。恒例の綱引き

業協会五島支部の上五島青年部(田中勝部長)は20日、第25回『土木の日』イベントを開催。会場となった新上五島町石油備蓄記念会館には、毎年恒例というこ



あいさつに立つ田中青年部長

「25年に渡り土木の日を続けてきたことに感謝」長崎県主催「建協五島支部 上五島青年部 五島振興局上五島支所 新上五島町



土木の日を説明する柴田支部長

の他にも様々なコーナーがあるので、今日一日をめいっぱい楽しんでいって下さい」といったあいさつで開会。続いて建設業協会五島支部の柴田久直支部長は、会場に集まった子供たちやその保護者を前に土木の日の成り立ちや、公共の土木事業の役割に触れた上で、「長崎県内でいち早く

このイベントに着手し、積極的に取り組んできたのが、上五島青年部です。全て自分たちでアイデアを出し、企画しています。これまで一回も途絶えることなく続き、今日の記念すべき第25回の大会で来場者数は3万6000人にのびます」と紹介。関係各位に感謝を述べた上で、「第1回目の25年前

を思い返すと新上五島町の人口は3万2000人でした。しかし、現在は2万人です。実に1万2000人減ってしまった事になります。今

年4月に制定された国境離島新法は、島に雇用の場をもたらし若い人が希望を持って働き、住めるような環境をつくる法律です。建設業協会としても高校等に赴き積極的にアピールしています。ぜひ、ここに集まった子供たちも、イベントを通して1人でも多く島内の建設業に入職し、一緒に働くことを願っています」と期待を込めて話した。

定された国境離島新法は、島に雇用の場をもたらし若い人が希望を持って働き、住めるような環境をつくる法律です。建設業協会としても高校等に赴き積極的にアピールしています。ぜひ、ここに集まった子供たちも、イベントを通して1人でも多く島内の建設業に入職し、一緒に働くことを願っています」と期待を込めて話した。

土木の日記念 新上五島町長杯 第12回 小学生対抗綱引き大会



▲勝利の笑顔、負けたチームも頑張った

あいさつに立つた江上悦男新上五島町長は、「今年度の優良工事業者として、長崎県知

ら、栄えある表彰を受けた榑浜田組、大宝建設(株)、榑坂本組には心からお祝いを申し上げたい。もし自然災害が発生となつ

た場合には、建設業の方々が頼りなので、引き続き協力体制を敷いていきたい」と述べた。この後、中村法道長崎県知事に代わり、県土木部の野口浩技監が会場に足を運び、田中青年部長に感謝状を手渡した。内容は「25年間の長きに渡り、土木の日のイベントを通して土木行政の役割を広く一般にも浸透させた事」。表彰状が田中部長の手に渡ると、会場は心からの拍手に包まれた。

この後、子供らによる選手宣誓が行われ、第12回新上五島町長杯小学生対抗綱引き大会が盛大に開始された。と同時に他のイベントも一斉に始まり、1日中家族連れの足が途絶えることが無かった。なお、今大会には上五島青年部のほか、長崎県五島振興局上五島支所、新上五島町が主催。後援は長崎県土木部、(一社)長崎県建設業協会五島支部、上五島建設工業協同組合、および弊社。



▶野口土木技監が感謝状を授与



▶子供たちによる選手宣誓



座談会は新年号で

日発行の新年号には、野口土木部技監と柴田支部長、歴代の上五島青年部部長を交えた座談会を掲載。